



記者発表資料

平成20年12月11日（木）14時00分

大阪経済記者クラブ会員各位

「食の都・大阪」のシンボルマーク・ロゴマーク決定 およびキャッチコピー募集について



【お問合せ先】

大阪商工会議所 中小企業振興部(中村・川端)

TEL 06-6944-6493

大阪の食に関わる産官学が一体となり大阪の食のブランド向上に取り組んでいる「食の都・大阪」推進会議（代表＝小嶋淳司・(社)大阪外食産業協会相談役理事、松本孝・ミナミ活性化委員会副委員長、事務局＝大阪商工会議所）は、大阪の多彩な食や食文化を分かりやすく内外にアピールする「食の都・大阪」のシンボルマーク・ロゴマークを新たに作成した。

同マークのコンセプトは、「おいしい笑顔」。料理を作る人、食材や道具を提供する人、食べる人など、食にかかわるすべての人たちが笑顔でいられるような街でありたいという思いが込められている。また、右肩上がり躍動感のある矢印は、「食の都・大阪」がこれまでの長い歴史の中で培った“大阪らしさ”を大切にしながら、誇りを持って今日の食文化を先導し、その笑顔を国内外に広めるとともに豊かな食の未来をみんなで創ろうという意志を表している。

同マークは「食の都・大阪」推進会議のシンボルとして、構成団体はもちろん、大阪の食に関連するその他の団体、企業などにも積極的に活用してもらうよう呼び掛け、国内はもとより世界に「食の都市・大阪」をアピールするツールとして利用する。

また、同マーク決定に伴い、大阪内外の人たちに「大阪の食の魅力」や「大阪の新たな（隠れた）食の魅力」等について改めて考える機会にしてもらうため、同マークに添える「キャッチコピー」を募集する。

以上

<添付資料>

「食の都・大阪」のシンボルマーク・ロゴマーク

「食の都・大阪」キャッチコピー募集のご案内

「食の都・大阪」のシンボルマーク・ロゴマーク



(商標登録出願中)

<デザイン・コンセプト>

「おいしい笑顔」おいしい料理を前に家族や仲間との楽しい語らい。そんな食事は私たちが自然に笑顔にしてくれます。このシンボルマークは、料理を作る人、その食材や道具を提供する人、そして、それを食べる人など、食にかかわるすべての人たちが笑顔でいられるような、そんな街で大阪はありたいという思いが込められています。

また、右肩上がりの躍動感のある矢印は、「食の都・大阪」がこれまでの長い歴史の中で培った“大阪らしさ”を大切にしながら、誇りを持って今日の食文化を先導し、その笑顔を国内外に広めるとともに豊かな食の未来をみんなで創ろうという意志を表しています。

<デザイナー紹介>

増永 明子氏 グラフィックデザイナー

1971年京都府生まれ。1997年より本格的にグラフィックデザインを始め、デザイン事務所数社を経て、2005年マスナガデザイン部を設立。2002年よりADC年鑑、JAGDA年鑑、東京TDC年鑑、日本タイポグラフィ年鑑、日本パッケージデザイン年鑑、CSデザイン賞、ブルノ国際グラフィックデザイン・ピエンナーレなど国内外コンペティションに多数入選・受賞。平面から立体・空間などカテゴリーにこだわらず、幅広くデザインを展開。食に関するデザインワークを多く手掛けており、辻調グループ校、ADF+TSUJI、アンデルセン、モロゾフ、壱番屋など多数。